

気候変動リスクに係る金融当局ネットワーク(NGFS)

- NGFS(Network for Greening the Financial System)は、気候変動リスクへの金融監督上の対応を検討するための中央銀行及び金融監督当局の国際的なネットワーク。金融セクターにおける環境・気候リスク管理の発展や、持続可能な経済への移行を金融面からサポートすることを目的に、有志の金融当局により、昨年12月の気候変動サミット(One Planet Summit)にて設立された。
- 金融庁は、4月にNGFSが主催したコンファレンスに参加し、その後6月にメンバーとして加盟。
- ①金融機関の監督に気候変動をどのように取り入れていくべきか、②気候変動が金融システム全体に与える影響をどう評価するか、③低炭素経済と統合的な金融を拡充していく上での課題 について検討することとしており、来年4月に報告書が公表される予定。

NGFSの構成(2018年6月時点)

[メンバー]

ドイツ連邦金融監督庁(BaFin)、モロッコ中銀、スペイン中銀、メキシコ中銀、英国中銀、フランス中銀・健全性監督破綻処理機構、オランダ中銀、ドイツ中銀、欧州中央銀行(ECB)、スウェーデン金融監督庁、日本金融庁、シンガポール金融管理局(MAS)、ベルギー中銀、オーストリア中銀、中国人民銀行

[オブザーバー]

国際決済銀行(BIS)、世銀グループ、経済協力開発機構(OECD)、欧州復興開発銀行(EBRD)

